

対 象 : 1 学年生徒 (全員) : グループ活動の場合 : 5 人/班

実 施 日 : 別紙参照

実施方法 : 講義 (全体) + 作業 + グループ活動 + グループ発表 (各教室)

実施内容 : テーマ) 論文を作成しよう

(1) 本時のねらい

- ① これまではグループ活動を通して分析力・計画力・プレゼン力の力をみにつけてきた。
そこで、今回は個人ごとにその能力をさらに高める。
- ② 他者に対する評価をすることにより、自己分析力を高める。

(2) 準備物 : テキスト・生徒の作成レポート

(3) 各授業 (国語・情報) との横断的展開について (一覧)

| | 課題研究 4 コマ分 | 図書館 1 コマ分 | 国語 1 コマ分 | 情報 2 コマ分 |
|-------------|---------------------------------|---|--------------------------------------|---|
| 内 容 | ・ 講義 ・ 作業 ・ 回し読み ・ 発表会 | ・ 「ひなぎく」 (国立国会図書館より) ・ 論文の書き方 ・ 文献やデジタル資料の活用 | ・ 論文の書き方 ・ 引用の仕方 ・ 引用文献の調べ方と演習 | ・ Word の使い方 ・ 図や表の貼り付けの仕方など ・ 生徒共有フォルダの活用など |
| 実 施 日 | 月 月 月 | 月 | 月 各クラス国語の授業 | 月 各クラス情報の授業 |

(4) 回収物 : 【提出】 個人論文 A4 1 枚 (2 ページ以内 : 2 ページの時は両面印刷)

1 時間目 【講 義】 全体

対 象：1 学年生徒（全員）

実 施 日：12 月 14 日（火）7 校時

実施方法：講義 1 コマ 一斉（ iRis Hall ） （担当： ）

実施内容：（1）準備物：テキスト・各自 筆記用具
（2）内 容・テキストに沿い論文作成について説明
・次回以降の内容説明

2 時間目 【作 業】 各教室(振り替え可能なとき、PC 室に異動)

対 象：1 学年生徒（作業）

実 施 日：12 月 21 日（火）7 校時

実施方法：各教室 （担当：各担任・副担）

実施内容：（1）準備物：テキスト・各自 筆記用具
（2）内 容・論文作成

3 時間目 【回し読み】 各教室で実施（別紙参照）

対 象：1 学年生徒（全員）

実 施 日：1 月 18 日（火）7 校時

実施方法：各教室で 5 人 1 グループになって、作成した論文を回し読みする （担当：1 学年全教員）

実施内容：（1）準備物：各自論文・評価シート
（2）内 容・回し読み
・配置された先生方は時間をはかり指示。

4 時間目 【発表会】 各教室で実施

対 象：1 学年生徒（全員）

実 施 日：1 月 25 日（火）7 校時

実施方法：5 人 1 グループになって、グループ内で論文内容を発表する。（担当：1 学年全員）
（大学学部の興味関心により事前調査を行い、グループ分けを行っておく）

実施内容：（1）準備物：各自論文に対するアブストラクト・筆記用具
（2）内 容・発表会

5 時間目 【外部講師による講義:ひなぎく】 各教室で実施

対 象：1 学年生徒（全員）

実 施 日：2 月 8 日（火）7 校時

実施方法：各教室で Zoom による視聴。 （担当：1 学年全教員）

実施内容（1）準備物：テキスト・各自 筆記用具
（2）内 容・図書館との連携